

## ナガチャコガネ

地中で樹木の根を食べるC字型のイモムシ（幼虫）。最大長約25mm。頭部は茶色、体は白い。成虫は茶色のコガネムシ。体長11～12mm。

苗木、庭のイチイ、畑のハスカップなどがしばしば食害を受ける。木が衰弱したり、枯れることがある。



1. 老齢幼虫，体長20mm.



3. トドマツ苗木，5年生。  
健全木（左）と被害木（右）。



2. 幼虫の尾端の下側（1の幼虫）。

1～3. 2001/11/27. トドマツ苗畑。

【学名】 *Heptophylla picea*

【分類】 コウチュウ目（Coleoptera），コガネムシ科（Scarabaeidae）

【分布】 北海道，本州，四国，九州；朝鮮。

### 【特徴】

幼虫は体が白い。また，尾端の下側は，中央に内向きの小さな刺毛が縦2列に並ぶ。

### 【生態】

宿主：針葉樹各種（イチイ，トドマツ，エゾマツ，アカエゾマツ，カラマツ，マツ属，スギ，ヒノキなど）。

成虫は6月下旬～7月頃出現し，日没直後に地上20～30cmの高さをゆっくり飛び回る。雌成虫は土中に潜って産卵する。卵は2～3週間で孵化する。幼虫は根を食べながら成長する。食害量は秋に多い。11月にはいると，老熟幼虫は地下20～30cmの深さに潜って越冬する。翌春，地下10cm前後のところに移動して蛹になる。

発育ステージ	～3月	4	5	6	7	8	9	10	11～
幼虫（越冬）	+++	+++	+++	+..				..	+++
幼虫（摂食・成長）					..	■■■■	■■■■	■■■■	..
蛹			..	◇◇◇◇	..				
成虫・卵				..	○○○	..			

### 【被害と防除】

樹木の苗畑やハスカップ畑でしばしば多発する。庭のイチイも被害を受けやすい。食害により木が衰弱したり、枯れることがある。枯れなくても苗木の品質や果実の収穫量を下げる。

6月下旬～7月下旬，日暮れ直後に畑を見回り，成虫を捕まえて駆除する。苗畑やハスカップ畑で農薬による駆除が必要と判断される場合は，コガネムシ類用の殺虫剤を散布する。取扱説明書に従って使用すること。

### 【文献】

1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病虫害獣図鑑. 223pp. 北方林業会, 札幌. (北海道での生態, カラー写真)

1994. 倉永善太郎. ナガチャコガネ. 小林富士雄, 竹谷昭彦編集, 森林昆虫, 総論・各論: 378-379. 養賢堂, 東京. (形態, 生態, 防除)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ナガチャコガネ kogane/nagacha/  
kaisetu.htm

「文章」原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/3/7-12/8.

1yochu.JPG, 1yochu2.JPG, 1higai.JPG

「写真1～3」原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001.